

【技術者 No.165865】

【工事名】平成 24 年度 総合グラウンドテニス B コート改修工事

【題 名】健康増進をはかるための施設改修工事について

地区・会社名 静岡県・株式会社 橋 本 組

(主執筆者)

名 前 橋 本 泰 志

(ふりがな) (はしもと ひろし)

【工事概要等】テニスコート改修

作業土工 1 式、舗装工 1 式、付属施設工 1 式、仮設工 1 式

【発注者】焼津市長 清水 泰(担当:焼津市 水産経済部 農政課)

【工事場所】焼津市 保福島 地内

【工 期】平成 24 年 10 月 11 日～平成 24 年 12 月 21 日

1. はじめに

本工事は、焼津市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課が契約担当となって、工事担当は、水産経済部農政課が行う形式のテニスコート改修工事でした。

テニスコート2面の内1面は前年度施工済みとなっており、本工事は前年度施工済み箇所を通り抜ける形での施工となっていました。

前年度施工済み箇所の保護、テニスコートとしての機能を発揮するための出来形管理及び品質管理を考慮した施工を要求される工事でした。

以下に、上記 3 項目について現場で工夫した内容を記載します。

① 仮設工(前年度施工済み箇所の保護)

本工事設計書には施工済み箇所を通行する仮設工として鉄板敷きが計上されていました。

テニスコートは人工芝で施工されており、鉄板直引きではコート面を損傷することが予想されたので、鉄板下面をビニールシートにて養生を行うこととしました。又鉄板敷設後、鉄板に段差が見られる箇所は砂をクッション材として敷き均し、出来るだけコート面への影響を減らすよう施工しました。(鉄板敷設完了)



②出来形管理

本工事の出来形管理基準は静岡県土木共通仕様書に基づき管理することになっていましたが、テニスコートに関する出来形管理基準の規格が記載されて居らず、発注者と協議が必要でした。

そこで、出来形管理基準の参考となる規格値を探したところ、「文部科学省」の仕様書の中に運動施設としてテニスコートの出来形管理値が記載されていたので、これを基準とする協議書を提出し、承認を得ました。

ただ、規格値をそのまま引用し、出来形をぎりぎり満足するような施工になると凹凸により、テニスプレー中のイレギュラーバウンドの懸念があると判断しました。

そのため、社内規格値は、仕様書規格の80%値を採用することとし、最終検査もこの数値以内でなければ不合格といった出来形管理で行うこととしました。

最終的な出来形値はすべての項目で規格値の50%以内で施工することが出来、発注者からもお褒めの言葉を頂きました。

③品質管理

表面の人工芝を施工する前に、基盤としてアスファルト舗装工を行うことになっていました。

このアスファルト舗装工の出来が平坦性の全てであることを認識し、施工には細心の注意を払い、凹凸の少ない仕上げとすることを目標として行いました。

- ・舗装前の下層路盤は丁張りを5mピッチで設置し、不陸は±16mm 以内で施工する。
- ・舗装完了後の不陸は±10mm で施工する。

上記目標に従い施工を行いました。舗装工については 10mm 以上の不陸が見られた場合はアスファルトにてレベリングを施し、出来形を満足することが出来ました。



2. 社会貢献

本工事で提案しました社会貢献事項として、利用者向けのチラシを配布し、利用促進の啓発を行いました。



3. おわりに

焼津市が30年以上もスポーツ都市宣言をしている現場からの具体的な施策として、施設のリニューアルの施工に携われたことは光栄に存じます。といたしますのも、最近テニス界で話題の錦織効果は少なからずあると思われ、徐々にテニスコートの利用者も増加傾向にあると言えます。世界的スターの出現がテニス人口の爆発的な拡大につながった例は各国にあるようですので、錦織選手のように、我が子を第2の錦織に、と彼の活躍が多くの親子に夢を与えているに違いないと思われまます。

このような環境の中で、本工事で造ったコートの素晴らしさを感じ取ってもらうために、チラシ効果を期待し、健康増進に大きく寄与できることと、テニス人口増を期待したいです。

以上